



第 157 号 (2017)

〒733-0032 広島市西区東観音 8-10

ワールド・フрендシップ・センター

理事長：山根美智子 館長：Bernd & Maggie Phoenix

T E L (082) 503-3191

F A X (082) 503-3179

E-Mail wfchiroshima@nifty.com

URL: <http://www.wfchiroshima.com/>

目次

1.	館長マギー・フィニックスのお別れの挨拶	2
	WFC 館長 マギー・フィニックス	
2.	館長バート・フィニックスのお別れの挨拶	3
	WFC 館長 バート・フィニックス	
3.	さよならメッセージ 金曜クラス	4
	堀江 壮	
4.	人生を変えた広島での体験	5
	ソヨン・チョイ、ヨンジン・ジョエン	
5.	平和の広島 (平和交換使節)	6
	チャン・ヒョジン	
6.	新館長の挨拶	7
	WFC 新館長 バープ・シェンク & ダニー・オットー	
7.	イリノイ・ウェズリアン大学からの研修生	9
	リンジー・ピーターズ	
8.	イリノイ・ウェズリアン大学からの研修生	10
	ジョシー・ブルームバーグ	
9.	クリエイティビティ・フォー・ピース	11
	ダリア・ヨハイ	
10.	2017 年 8 月 PAX アメリカ人参加者紹介	12

館長マギー・フィニックスのお別れの挨拶

私達の、2 年間にわたるワールド・フрендシップ・センターの勤めも 終わりに近づいてきました。

たくさんの楽しい思い出が甦ります。

そのうちの素敵な思い出は、WFC の理事、スタッフ、メンバー、生徒たちが時間を割いて日本の文化や、訪ねたい土地を親切に教えて下さったお蔭です。

私たちの為に、病院や歯医者予約をとったり、日常の買い物や旅行の手助けをして下さったり、またカープの切符の便宜を図って下さったり、感謝しています。

教えていただいて買ったマットレスは、毎日の仕事をしていく上の元気をくれました。

自転車は運動にもなり、また車を持たない私たちの身近な足になってくれました。

日本の野球がどういうものかを見るのは楽しかったです。

また 毎年、花見に何度か出かけ、景色の良い田舎に小旅行もしました。

今年は岩国に行き、錦帯橋と満開の桜を見られたのは最高でした。

野呂山への旅行で旅館に泊まったのは得難い体験でした。

それから豪華な足立美術館と有名な出雲大社のバス旅行、ここでは海鮮せいろ蒸しご飯を頂きました。

三段峡には車で行き、元気よくハイキングをし、ボートにも乗り、彩りもよくとても美味しい弁当を食べました。また素晴らしい滝も見ました。

それから、何度も美味しい食事に招待していただきました。

イタリアンレストランでは素晴らしい眺望でしたし、豆腐レストランでは静かな庭園が格別な雰囲気でした。

また忘れられないのは カラオケに何度も行ったことです。

そこではカラオケ大好きな友人たちと歌を歌うだけでなく、食事と飲み物も同時に楽しめるのです。

皆さん本当にありがとう。私達はあなた方と、広島で過ごした時間を忘れません。



バートとマギー館長夫妻

館長バート・フィニックスのお別れの挨拶

素晴らしい、そして忙しい2年間でした。WFCでの2年間について、私はいつも世界中からやってきたゲストたちとの朝食を思い出すでしょう。若い人たちも、そう若くない人たちもいました。大勢のグループや家族全員で来た人もいますし、一人旅やパートナーと一緒に来た人もいました。一晩だけ宿泊する人たちや、1週間、1か月と宿泊する人たちもいました。けれども、全員に共通していたのは世界平和への深い願いと、世界をより良い場所にしようとする思いでした。

私たちは、朝のディスカッションでバーバラ・レイノルズについて語りました。また原子爆弾や原発の危険性について人々を教育するセンターの目的についても語りました。私たちは何度も非常に深い、感動的な気持ちになりました。

人類は、道理に反した機構が、終わりの見えない戦争を招いてしまうようなエネルギーを使わないことで、より良い未来を得る機会があるのだと気付きました。私たちは幸福な生活のために、クリーンで全てが豊かに提供される世界をつくる事ができます。そのための技術はありますし、まさしくそれを使わなければいけません。

それから、WFCの日誌やトリップアドバイザーに書き残されたゲストたちの数えきれないコメントがあります。「WFCでの滞在は私に深い影響を与えてくれました。」「WFCに来たことで私の人生が変わりました。」など、数多くの感動的なコメントを頂きました。私もまた、WFCが私の人生を大きく変えてくれたと申し上げます！

そしてまた、大勢の素晴らしい、年齢の異なる生徒さんたちとの英語のクラスがありました。楽しくて笑いあったことや、時には大変深刻な話題もありました。それもまた一つの大切な思い出です。

尚美さんと美穂さん、ありがとう。あなた方の助けなしでは私たちは何もできませんでした。

あなた達の親切はいつまでも心に残るでしょう。



バート&マギー・フィニックスと友人のいっさん

2年間あっという間でした。毎週金曜日は特別な日 準備に時間がかかることもありましたが いつも私たちが知らないニュースを教えてください楽しい2時間でした。被爆証言内容についてもアドバイス、発音を訂正いただき、心から御礼申し上げます。

劣化ウランについては毎回証言のたびにお教えいただきました。それにしても米軍はまだシリアで使用しているとは驚きました。自国の兵士もいかに被害を受けているか 当然わかっていると思いますが 私には理解できないことです。お教えいただいた当日すぐネットで確認しました。

私はゲストの方に被爆体験を話すとき必ず 核兵器と通常兵器の違いは知っていますか?と質問しています。劣化ウラン弾は核兵器ではありませんが金属毒性と爆発後微細になった粒子が巡り巡って体内に取り込まれると 永久に内部被爆を起こす恐ろしい兵器です。

WFCにお邪魔しだして10年以上たちますが 館長さんと散髪屋とラーメンを食べに頻繁にご一緒したのは初めての事です。

でも、私にとって一番ありがたかく、うれしかったのは 伊方原発運転差し止め広島裁判の原告になっていただいたことです。広島在住の外国人にも 裁判の原告になることの意義を理解いただいたことは、原告団にとって大変ありがたいことでした。

そのあとの学習会でも特別にお話しくささいました。その内容は私たちというより日本人全体がしっかり考えてゆかねばならないことでした。これからしばらくはどうかお体を休めていただき、お元気にお過ごしいただきまよう心からお祈りしております



バート&マギー・フィニックスと堀江壮さん

5月9日、火曜日午後遅くに広島から帰国して、旅行鞆を開けました。日本から持ち帰った多くの思い出や思いがぎっしりつまっていました。温かいおもてなし、友情、やさしさ、平和への情熱、そして日本という国。

広島に行く前は、率直に言って他の多くの韓国人と同じように、日本や日本の文化については偏見以外には何も持っていませんでした。つまり我々の国は教育を通じて「日本は我々を侵略した、だから彼らは我々の敵である。」と私たちに教え、私たちもそう思ってきました。これを考えてみると、これまで韓国と日本は地球上で一番身近な国でありながら、同時に最も遠い国でもありました。私たちはお互いを知りもしないで、お互いに対して優しくする代わりに憎しみを醸成しています。これは悲劇です。

しかしながらソヨンと私は、このヒロシマPAXで、この悲劇から抜け出す貴重な機会を得ることができました。私たちを敵ではなく本当の友達本当の家族のように接してくださった多くの人々に会うことが出来ました。

広島での体験、食べ物、宮島へ行ったこと、文化や歴史に触れたことはすばらしかったけれど、そのなかで、最高だったのはなんといっても出会った人々でした。特に(最後の)カラオケでいろんな言語が混じって歌を歌ったことは忘れられません。

言語、歳、人種、国籍の違いを超えた1つの大きな家族のように感じました。通じ合える言語がなかった等しさんと話したこと、少女のような純な心を持った美栄子さん、歩く図書館の美智子さん、やさしくソフトな声の美喜子さん、平和について情熱を持った慶子さん、温泉で裸のバート、美人のマギーとダリヤ、また宮島で美智子とシズオとの感動的な瞬間、いろんなこと、いろんな人がまだ私の脳に鮮明に焼きついています。

広島にいるとき、韓国へ帰るとき、私は大切なことに気付きました、国は国なのだ、と。つまり私たちはお互いの国で同じように毎日生活をしている人間なのだ。

そうなんです、私たちはともに戦争の犠牲者であり、歴史の犠牲者であり、国の犠牲者なのです。それゆえ、私たちはお互いの傷を理解しあい自分のこととして共感しあえる兄弟姉妹です(なければなりません)。

冷たい弁明は決して温かい心には勝てない、本当にそうです。私たちは長い間お互いに憎しみ合う教育を受けてきたけれども、PAXというこの小さな一歩を通じて、この障害を乗り越えてお互いを愛しあうことを学び始めることができることを、私は確信しています。



ヨンジン・ジョエンさん
ソヨン・チョイさん



コリアン PAX メンバーと日本人ホスト

平和の広島（平和交換使節） チャン ヒョジン

ゴールデンウィークの期間の広島旅行は、数日間、仕事で忙しく働いた後の大きなご褒美となりました。広島に行く前は、PAX プログラムが一体何であるのか、十分な理解をしておりませんでした。今広島から帰って、PAX とは、非常に個人的なレベルでの友情関係、学び、そして愛と平和のためのものだと言述べることができます。

私がずっと持ち続けたい多くの思い出はありますが、WFC の人々を知ることが出来たのが、もっとも貴重な好機でした。美智子さん、美喜子さん、そして Jim 先生に加えて、一緒に参加して私たちと一緒に時間を過ごして下さいる WFC のメンバーがいつもいて下さいました。観光やポットラック・パーティー、そしてホストファミリーの家では、別の WFC のメンバーの方々とお会いし、お話ができ、理解しあえることが出来ました。その人達のお話と、どのように平和活動にかかわられたかを聞くことは、とても良かったと思います。最も感銘を受けたことといえば、多くの WFC のメンバーが、非常に長い間 WFC とかわかっておられることでした！ 今やその人達は、私の平和構築への道のりで、平和を追求していく動機付けを常に与えて下さる模範となる人達となりました。

平和のシンボル広島を訪れることは、教師としての私には、貴重な経験でした。私の学生時代の世界史クラスで、原爆が広島と長崎に落とされ、そのことが結果的には戦争の終結につながったと習ったことを覚えています。教科書の中には、そのことは当然の事実として述べられており、原爆投下後、そこに生きていた人たちに何が起こっ

たかなど考えるすべは、私にはありませんでした。平和記念館で被爆者女性のお話を聞いたので、その当時の事が私にとって非常に身近で現実的なものになってきました。そして、私の生徒たちもこのようなお話を聞く必要があると思っていました。そうすれば、今後、もはや戦争が起きてはならないということを彼らは知ります。私は、平和教育を計画し、生徒たちに過去に起きた戦争について伝え、なぜ私たちが平和を追求しなければならないかを伝えていくでしょう。

広島 PAX は、予期しない行事として私に起こってきましたが、私の平和遍歴の中で非常に意義深いものでした。私は常に WFC から受けた暖かいおもてなしを思い出すでしょう。そして、私がお目にかかった、平和構築に積極的に関わっておられる人々のような人生を生きたいと思います。

チャン・ヒョジン



新館長の挨拶 バーブ・シェンク & ダニー・オットー

ワールド・フрендシップ・センター着任で広島へ転居する事は、バーバラ・シェンクにとっては故郷に帰るようなものでしょう。バーバラが4歳の時、彼女の家族は東京へ越して来ました。両親がメノナイト派の宣教師になる準備として語学を勉強するためでした。子ども時代のほとんどを、バーバラは北海道の標茶(しべちゃ)町と釧路市で過ごしています。

バーバラのこれまでの3つの経歴をご紹介します。まず、大学卒業後、ペンシルベニア州及びオレゴン州で音楽教師・聖歌隊の指導者を務めました。次に、イリノイ大学システムで13年間、高校の日本語教師養成課程のカリキュラム開発の専門家として働きました。そして、最近では公立学校の3学年から5学年の特別教員として勤務しました。

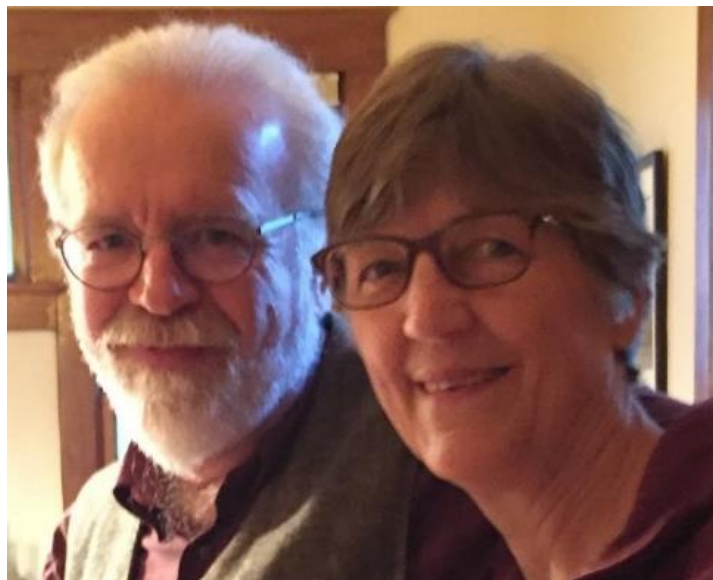
広島や原爆の影響に興味を持ち始めたのは、バーバラが日本で過ごした幼少期に遡ります。すなわち、両親が日本にやって来た1950年代後半の事です。最初に広島を訪問したのは十代の時。それ以後も何度が訪れています。そして、彼女の二人の子どもも、それぞれ小学生の時に広島に連れて来ています。教鞭をとってからは、毎年、サダコと折り鶴の物語を生徒達と学び、一緒に鶴を折り、その折り鶴を平和公園に送っていました。この八月、広島に来る際には、彼女の最後のクラスで作った折り鶴を持参いたします。

ダニー・オットーの人生も4歳の時に大きな転換を迎えました。それは(引越しという)地理的な変化ではありませんけれど。ダニーは、イリノイ州の古いアーミッシュの家に生まれましたが、彼が4歳の時、家族が教会を変えてメノナイトとなりました。大学のために家を出る事になった時、これで全く農場生活からはさよならだと思いました。大学院で哲学史を学んだ後、ノートルダム大学、トロント大学、そして、PIMS(教皇庁立 中世史研究所)へと進みました。

息子のエリが誕生したのちダニーとバーバラは、ダニーが生まれ育ったイリノイ州中部の農場に戻りました。17年間、500 エーカーの穀物農場を経営しました。と同時に他の仕事も続けました。ダニーは23年間、イースタン・イリノイ大学で哲学を教えました。農場に帰ってから、娘のソフィアが誕生しました。ソフィアは現在、JET(The Japan Exchange and Teaching)プログラムを利用して札幌で英語を教えています。ダニーとバーバラが来日する頃には日本を離れて、大学院に行くためベルギーのブリュッセルに向かいます。

ダニーは、バーバラやその家族と接するうちに、日本への興味が増してきました。結婚2年目の1984年、二人は日本で4か月を過ごしました。その間、長崎も訪問して原爆の爪痕を目にしました。また、ダニーは生涯、献身的な平和主義者であり、ワールド・フрендシップ・センターで館長として奉仕する事は、戦争の愚かさを皆さんに啓蒙し続ける機会を与えてくれることでしょう。

私たちは、ワールド・フрендシップ・センターで皆さんと一緒に過ごせる2年間で、心より楽しみにしています。



ダニー・オットー&バーブ・シェンク

こんにちは。私の名前はリンジーで、9月からイリノイウェズリアン大学の三年生になります。私の大学はイリノイ州にあり、シカゴから南へ2時間のところにあります。大学ではスペイン語と環境学を学び、特に国際的な持続可能性を研究しています。はっきり説明すれば、各国が資源をどのように管理しているか、また例えば気候変動に関して他の国々とどのように協力し合っているか、などについて研究しています。将来は、私は動物園の経営か、動物保護（絶滅の危機にある種の保護）の分野で動物たちと仕事をしたいと思います。

私はこれまでの人生の中でずっと動物たちを可愛がってきました。ある時は400種を超える動物のいる動物園を持つサマーキャンプで働きました。私は、例えばフクロモモンガ、ワライカワセミ、キツネ、ミニブタ、トカゲや他の多くの動物など、多くの異なる種類の動物たちを扱う仕事をする事が出来ました。私が教えた中で大好きだった二つのクラスは「ラマとヨガ」、「キツネザルとヨガ」でした。これらのクラスで、私は子供たちのグループをラマやワオキツネザルの囲いの中に連れて行き、彼らに基本的なヨガの姿勢とヨガのなめらかな動きを教えました。ラマは彼らの好きな事をし続けていますが、キツネザルは時折子供たちの後ろで飛び回り、不思議な人間たちが何をしているのかよく見ようとして歩き回ったものです。

私は子供時代からいろいろなペットを飼ってきました。モルモット、ラット、トカゲ、ネコ、イヌ、トリやサカナたちです。今はポコとバートという名の2匹のイヌと、ホリーという名のネコ、モービーという名のサカナとナギニという名のニシキヘビを飼っています。ナギニは私の個人的なペットで、私の日本滞在中は私のボーイフレンドと一緒にいます。私はこれまで約8年間ナギニを飼っていて、彼女は今8歳と9歳の間です。私は週に一回ナギニにラット一匹を与えます。彼女に餌を与える時まで3パックのラットを冷凍室に保存しています。ナギニは誰にも噛みついたことはないし、簡単に世話することができます。私のペットたち全部の中で彼女が一番手間とお金のかからないペットです。彼女は週に一回食事をし、私は月に一回彼女のおりを掃除するだけで済みます。その他彼女に必要な事は2つの電気ストーブとおりの中の湿気だけで、彼女のためにおりを暑く湿った状態に保ちます。私はヘビや他のペットたちが大好きで、遠く離れていると彼らに会えないので寂しく思います。私は何度も「なぜあなたはそんなにヘビが好きなのですか？」と尋ねられました。けれど私は他の種類の動物たちよりヘビが好きだという訳ではありません。私はただ嫌いな動物に会ったことがないだけなのです。

リンジー・ピーターズ
& ナギニ



私の名前はジョシー・ブルームバーグです。この秋にイリノイウェズリアン大学の3年生になります。私の主専攻は国際学で副専攻は経済学とコンピュータ・サイエンスです。私が大好きな事の一つは旅行することです。私の家族はアメリカ合衆国の各地を旅行しましたし、私も海外へは3回出かけました。バハマ、ドイツ、そして今回の日本です。私が国際学を主専攻に選んだのは、外国のことや国と国との関係をもっと知りたかっただけでなく、もっと旅行したかったからです。私は家族と一緒にバカンスでバハマに滞在しました。去年の5月に、私はブレイメン大学で4週間ドイツ語を学ぶためにドイツに行きました。現在私はワールド・フレンドシップ・センターの研修生として日本にいて、7週間日本に滞在できるので大変幸せです。

将来は他のアジアの国々を訪れたいと思います。私のボーイフレンドは中国人です。彼の名前はブラッドリーで彼の家族は台湾出身です。けれども彼はアメリカ合衆国で生まれたので、英語と標準中国語の両方を流暢に話すことができます。彼も合衆国の多くの州に行ったことがあって、旅行を楽しんでいます。私たちは将来いつか一緒に台湾に行く事を計画しています。彼は中国語を流暢に話せるので申し分のないガイドになって、私たちは気楽に様々な所に行くことが出来るでしょう。彼は家族を訪ねて何度も台湾に行ったことがあるので、私に台湾のあちらこちらを案内出来ることに張り切っています。

私たちが死ぬ前にやりたい事のリストの中の一つはイタリアのシシリー島に行く事です。私の祖父はイタリア人で、彼の家族はイタリアからアメリカ合衆国にやって来ました。ですからそこは私が心から行きたいと思う場所なのです。

私たちはまた、合衆国の他の州を旅行することも計画しています。ブラッドリーの故郷はワシントン州のシアトルの近くなので、私たちは彼の家族に会って彼が育った所を見るために、来春そこに旅行します。私たち二人はどこに出かけても様々な公園やその他の興味深い場所を探検するのが大好きです。私の誕生日に、私たちは州立公園の端から端までハイキングしました。公園には美しい川が流れていた所以我们はそこを目指して歩いて行き、岩の上に座って川の音を聞きました。

私はもっと多くの国々に旅行できる事を楽しみにしています。なぜなら、多くの国に行けば行くほど世界やそこに住む全ての人々の事をもっとよく理解できると言われているからです。

ジョシー・ブルームバーグ
&ブラッドリー



クリエイティビティ・フォー・ピースは、ニューメキシコ州サンタ・フェ市にある、イスラエルとパレスチナの懸け橋となる次世代の女性リーダーと平和構築者を育成する為の平和団体です。

パレスチナとイスラエルの若い女性が、怒りと偏見から脱し、お互いを尊重し合い、相手を理解し、対等で平和な関係を築くために助け合い、積極的に行動を起こすリーダーとして手を携えて活動できるようになることを目的としています。

最初の3週間の短期集中キャンプでは、対話と美術製作のみを行い、パレスチナとイスラエルの16人の女子高校生たちが、友情を構築し、戦争による苦痛から癒され、彼女たちの心の声を見つけられるように導きます。

次に彼女たちの国で集まり、若いリーダーとしての訓練、平和政策を構築できる女性となる訓練を積みます。

アメリカの若者もこの活動に無縁ではありません。サンタ・フェ市、またはニューメキシコ州内から多くのボランティアが参加し、クリエイティビティ・フォー・ピースの活動が恒久的に実りをもたらすよう力を注いでいます。

ウェブサイトでその様子が確認できます。

creativityforpeace.com



ダリア・ヨハイ

2017 年 8 月 PAX アメリカ人参加者紹介

ウルスラ・マックタガート准教授



私はミシガン州カラマズー出身で、ウィルミントン大学で英語の准教授をしています。20 世紀アメリカ文学, 特に社会正義に関連のある文学と言語を研究しています。私は核使用や核拡散に反対し、平和の構築の正当性を信じており、この度の PAX に応募しました。また、旅行が好きで日本文化を体験し、日本の風景を見てみたいと思っています。

ジュリア・クック



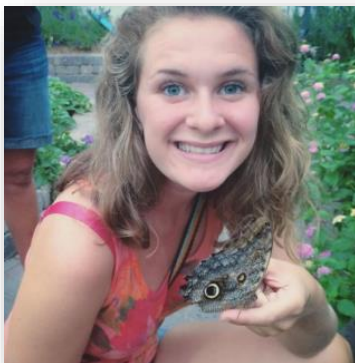
こんにちは。私はウィルミントン大学 2 年生のジュリア・クックです。アスレチックトレーニングを専攻し、コーチングを副専攻としています。また、ウィルミントン大学ソフトボールチームの一員で、2 度目のチームオールOAC栄誉を獲得しました。オハイオ州カントン出身です。PAXに参加したかった理由は、ユニークで素晴らしい機会が得られると思ったからです。わくわくするような日本での冒険を楽しみにしています。

リリー・ビーン



私はこの秋ウィルミントン大学 2 年生になるリリー・ビーンです。私の専攻は早期幼児介入専門家で、子供の教育、特に平和と紛争の解決を扱う分野に熱心に取り組んでいます。それは、前向きな生活を送るためには不可欠だと思うからです。日本を訪れる機会を与えていただき感謝すると同時にわくわくしています。昨年、ウィルミントン大学ピースリソースセンターでインターンシップを経験する機会がありました。そこで原爆や日本の長い歴史に関するたくさんの資料にアクセスできました。被爆者の証言と平和的国際社会を維持するための解決法に強く興味を抱きました。

カーリー・ブリチャード



私はウィルミントン大学 4 年生でスペイン語、マーケティング、経済学を学んでいます。旅行して違う文化を学ぶのが好きです。この夏日本文化に触れる機会を得て胸が躍りました。平和と非暴力への関心がきっかけとなり、広島に滞在し、非暴力によって問題を解決のできる人になるにはどうすればよいか学びたいと思い、このPAXに応募しました。時間があるときにはロッククライミング、執筆、そして、あまり上手ではありませんが、サルサダンスを楽しみます。

友愛編集委員：（英語）ジム・ロナルド，マギー・フィニックス
（日本語）兼綱寿美子，車地かほり，三村庸子，山根美智子，
翻訳者：池田美穂，大村直生，尾崎美恵子，兼綱寿美子，清水美喜子，
平岡佐知子，三村庸子，山根美智子
発行者：特定非営利活動法人 ワールド・フレンドシップ・センター
発行所：〒 733-0032 広島市西区東観音 8-10
Copyright NPO World Friendship center 2017
無断転載・複製を禁ず